



## 桂精機製作所の1950年代 創業者とカツラ70年の夜明け

### 強い決意を胸に工業の道へ

1925年2月20日、現在の山梨工場の入口に位置する山梨県北巨摩郡多麻村で、桂精機製作所創業者丸茂桂は生まれる。

貧しい農家の家系で、子どもの頃から農業の手伝いをしていた。ある年の秋、苦労して収穫した米の半分以上を地主に田の借り賃として納めるのだと父から聞き、子ども心に憤慨。「俺は長男だが百姓は絶対にしない」と誓う。

1940年に15歳で尋常高等小学校を卒業。機械いじりが大好きだったこともあり、叔父の紹介で、東京・蒲田の切削工具を製造する社員50人ほどの町工場に4年契約の丁稚小僧として入社。工業の道を歩み始めた。



▲ 創業者 丸茂 桂



▲ 社会への第一歩を踏み出した就職時の頃

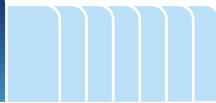
### 丁稚小僧の厳しい経験と将来の夢

入社1年目の丁稚小僧は、7時が始業時間のところを5時半に起床し、機械の油差しや工場内の清掃、兄弟子の身の回りの世話を行わなくてはならなかった。夜も9時まで残業が続き、その後も洗濯等の雑務をこなして風呂に入って寝るのは日付の変わる深夜0時過ぎという過酷なものであった。

過酷な丁稚奉公生活も2年目以降は後輩が入ったことで仕事が楽になり、夜間の工業学校へ通い始めることができた。この頃から、工場を持つ事を将来の夢として思い描くようになる。学校から帰り、予習をして、寝る前には布団に正座して「俺は必ず工場を持ってみせるぞ」と誓って眠っていたという。

4年間の丁稚奉公が終わると機械工の職人になり、1945年2月、最後の徴兵で軍隊に入隊。間もなくしての敗戦で、その後は機械の職人をしながら独立のチャンスを探していた。そんな折に転機が訪れたのは1951年のこと。現在の神奈川工場の協力会社でもある山口製作所の工場から空いていた機械を1台借りられることになり、下請けの加工仕事を始めた。現在の株式会社桂精機製作所の前身ともなる、丸茂製作所の始まりであった。





## 縁がつないだLPガスとの出会い

丸茂製作所での下請け仕事は、高圧容器メーカーである旭製作所の仕事だった。その縁があり 1953 年秋、旭製作所の西根社長(故)のすすめで、LP ガスの調整器の研究開発を開始することとなった。

当時の日本では、LP ガスはまだ普及どころかその存在すらほとんど知られていなかったが、西根社長はすでに普及が進んでいるアメリカで溶接容器の製造を学んでいた経験があり、LP ガスの将来性を見抜いていたのだった。これが桂にとって初めての LP ガスとの出会いとなる。

西根社長が日本に持ち込んだ米・フィシャー社の 2 キロ型調整器をもとに、丸茂製作所が日本で初めての LP ガス家庭用小型調整器の生産を開始。当時は旭製作所名義での販売であったが、1956 年からは自社ブランドの製品として販売した。



▲ 旭製作所の西根社長(写真左)と創業者



▲ 1953年10月 LPガス用調整器の生産を開始

## 1955年、株式会社桂精機製作所が誕生

1955 年 6 月、社員が 10 人程に増えて部品関係の下請け仕事をしながら調整器の生産も順調に伸び始めた頃、資本金 30 万円の株式会社に改組。株式会社桂精機製作所が誕生した。

当時の日本経済は敗戦から 10 年が過ぎて復興が軌道に乗り始め、雇用の増加による集団就職が活発になるなど、世間は活気に溢れていた。高度経済成長に伴い LP ガスも急成長を遂げ、生産が間に合わないほど調整器の発注が殺到。パートナー達とともに寝る間も惜しんで生産に励んだ。

そして、同時期に間借りしていた 15 坪の蒲田のクリーニング工場からも移転し、東京・羽田の穴守稻荷の裏手に 110 坪の工場を設けることができた。

資本金 30 万円のまだできたばかりの会社だったため、何度も銀行に通いつめ、無理を言って支店長にまで直談判。途中であきらめることなく全力で熱意を伝え続けた結果、念願叶ってついに手に入れることができた、桂精機製作所にとって初めての自社工場である。



▲ 1955年6月 株式会社桂精機製作所を設立

## 丸茂桂の履歴と栄誉

1925年(大正14年)	2月	山梨県北杜市須玉町(当時:北巨摩郡多麻村)で誕生
1940年(昭和15年)	3月	多麻尋常高等小学校を卒業
	4月	竹中機械工具製作所に入社
	4月	京浜工学院機械科に入学
1944年(昭和19年)	3月	京浜工学院機械科を卒業
1945年(昭和20年)	2月	航空連隊に応召
	8月	終戦により除隊、竹中機械工具製作所に復職
1951年(昭和26年)	1月	丸茂製作所を創業
1955年(昭和30年)	6月	(株)桂精機製作所を設立、代表取締役社長に就任
1964年(昭和39年)	1月	日本ホース金具工業会 副会長に就任
	11月	日本 LP ガスコック工業会 理事に就任
1966年(昭和41年)	4月	日本 LP ガス調整器工業会 会長に就任
1968年(昭和43年)	4月	(財法)日本エルピーガス機器検査協会理事に就任
1970年(昭和45年)	8月	日本 LP ガス機器工業会(※組織変更) 会長に就任
1972年(昭和47年)	6月	日本 LP ガス機器工業会 副会長に就任
1975年(昭和50年)	7月	LP ガス対震自動遮断装置連絡協議会 会長に就任
1978年(昭和53年)	4月	(財法)日本エルピーガス機器検査協会 監事に就任
1980年(昭和55年)	3月	(社法)日本エルピーガス供給機器工業会(※組織変更) 副会長に就任
	7月	(財法)日本エルピーガス機器検査協会 理事に就任
1988年(昭和63年)	3月	日本 LP ガス団体連絡協議会 理事に就任
1994年(平成6年)	4月	日本 LP ガス団体協議会(※改称) 理事に就任
2001年(平成13年)	9月	日本バーナ製造協会 会長
2004年(平成16年)	6月	(株)桂精機製作所 代表取締役会長に就任
2006年(平成18年)	4月	(財法)日本エルピーガス機器検査協会 名誉顧問に就任
2010年(平成22年)	6月	(株)桂精機製作所 取締役を退任し、顧問に就任
2011年(平成23年)	8月	逝去 享年 86 歳



創業者 丸茂 桂

「その性情資性明敏かつ信念の人であり、又極めて責任感強く、その精悍な風貌と相俟つて人々の尊敬をあつめる。又、極めて鋭敏な経営感覚の持主で、常に時代を先取りし、業界発展・保安確保の事業を推進して来た。ゆえに四十才の若き頃より、既に業界の指導者としてリーダーシップを發揮して、今日に至る。まさに先見の人であり、人望の人である。」

『藍綬褒章受章への歩み』より



▲ 数々の業界紙で長年の功労と共に訃報が伝えられた

1978年(昭和53年) 10月

労働大臣賞 受賞

1979年(昭和54年) 11月

通商産業大臣賞 受賞

1989年(平成元年) 11月

藍綬褒章 受章

1996年(平成8年) 11月

勲四等瑞宝章 受章

年秋の叙勲伝達

通商産業省



▲ 勲四等瑞宝章受章時の創業者